

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育Ⅰ Entrepreneur EducationⅠ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択（ ）		特になし。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
起業演習、起業論、経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務演習Ⅰ・Ⅱ、マーケティングⅠ・Ⅱ,ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
起業演習、経営学Ⅰ、ビジネス実務総論Ⅰ、マーケティングⅠ、ファイナンシャルプランナーⅠ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12：10～13：00		授業中に指示します
授業の概要				
はじめて起業家教育を学ぶ人を対象とする。本授業では食品製造業の起業をモデルとして、起業のための一連の手続きを学習する。製品の開発、衛生管理などを座学を中心に行うが、商品の販売活動は秋季に行われる「みかも祭」で実施する。したがって、受講生はできるだけ起業家教育Ⅱまで受講してほしい。受講生は起業学習の体験を通して自分の適性や「生きがい」を認識してほしい。				
授業の目標				
①起業に必要な基本的な手続きを説明できるようにする。 ②組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようにする。 ③起業家精神にもとづいて自主的に問題解決のための行動がとれるようにする。				
授業の方法				
演習方式、販売活動は実習方式。				
学習の成果（学習成果）				
起業活動の一連の手続きと現実的な販売活動を通じて 組織における自分の役割や責任を認識し組織におけるチームワークの重要性や自分の職務遂行における主体的行動の必要性を認識し、コミュニケーション能力やチャレンジ精神、問題解決能力を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	今、何故、起業が叫ばれるのか（開業率と閉業率、経済の国際化・情報化、少子高齢化)			
第3回目	起業のメリットとデメリット			
第4回目	企業組織と職務(組織とは、組織の目的、組織の責任と権限、組織内の職務内容)			
第5回目	佐野短大起業家教育における起業活動の一連の手続き、企業組織、組織目的、役職とその職務内容			
第6回目	企業の設立(グループ別け、役職決定)、企業設立の法的手続き			

第7回目	商品開発のための市場調査①（アンケート調査項目の検討）
第8回目	商品開発のための市場調査②（アンケート調査の実施） アンケート
第9回目	商品開発のための市場調査③（アンケート調査の分析・評価）
第10回目	取扱商品の決定と開発①（アンケート調査に基づく商品の選択）
第11回目	取扱商品の決定と開発②（試作品の作成）
第12回目	ビジネスプランの作成①（事業目的、商品の特徴、ターゲット顧客など）
第13回目	ビジネスプランの作成②（商品価格の決定、予想売上高・費用・利益の決定）
第14回目	食品製造業における衛生管理、講義全般に感想や反省点に関するレポートの作成
第15回目	商品の開発と講義の振り返り
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	40% 無遅刻・無欠席・無早退で組織における自己の職務上の責任を全うし、他のメンバーと積極的に協力しあうこと。
レポート	40% 組織全体的視点から自分が担当する職務の内容を客観的にとらえ、課題点や反省点を含めて記述すること。更に職業選択肢の一つとしての『起業』について自分の考えを記述すること。
調査報告書	
小テスト	
試験	
発表内容（態度含む）	
その他	20% 市場の需要分析するための市場調査に積極的に参加して、自己の職務を全うすること。
教科書と参考図書	
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。	
履修上の留意点・ルール	
授業中の私語は禁止する。また、原則的に欠席・遅刻は禁止する。甚だしい時は減点の対象とする。	